

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道49号 平バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県いわき市常磐上矢田 至：福島県いわき市好間町北好間			延長	7.7 km	
事業概要	平バイパスは、いわき市内における国道49号の交通混雑の解消及び常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス強化等を目的とした7.7 kmの4車線道路である。					
S56年度事業化	S55年度都市計画決定	S58年度用地着手	S58年度工事着手			
全体事業費	410億円	事業進捗率	73%	供用済延長	2.9 km	
計画交通量	25,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 2.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 110/636億円 事業費：92/607億円 維持管理費：18/29億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 283/1109億円 走行時間短縮便益：260/995億円 走行費用減少便益：9/66億円 交通事故減少便益：14/48億円	基準年 平成17年		
感度分析の結果	事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量変動：B/C=1.9(交通量+10%) B/C=1.6(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.7(事業費+10%) B/C=1.8(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.3(事業期間+20%) B/C=2.2(事業期間-20%) 【残事業】交通量変動：B/C=2.9(交通量+10%) B/C=2.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.4(事業費+10%) B/C=2.8(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.4(事業期間+20%) B/C=2.7(事業期間-20%)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善が期待される） 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他9項目に該当関係する地方公共団体等の意見					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平バイパスは、いわき市内における国道49号の交通混雑の解消及び常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス強化、三次救急医療施設への速達性向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、いわき市をはじめとする関係首長で構成される福島県浜通り地方開発整備促進協議会より、早期整備の要望を受けている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 【執行済み額】事業費：300億円（進捗率 73%） うち用地費：56億円（進捗率 93%） 事業進捗に係わる問題はなく、L=0.9 km区間について、平成20年度の部分4車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	コンクリート2次製品の長尺物の採用によりコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>事業概要図は、いわき市内の国道49号平バイパスのルートを示しています。図には、いわき中央IC、北好間交差点、常磐自動車道との立体交差点、および各区間の供用状況（供用中、事業中、再評価箇所、うち供用中）が示されています。また、交通量（T=25,254台/日）や用地費（L=0.9km）などのデータも記載されています。</p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。